現在の習慣・将来の夢

平松信義

私の夢は一生学び挑戦し続けること、そして社会に貢献することです。

僕が長い間大切にしてきた習慣は、より多くを経験して学び、失敗から学び、そして先人から学問を通じて学ぶ姿勢を持つことです。謙遜な学びは自分の見識を広げて深めることに非常に役立ちます。今の私に理解できることはとても少なく、学問を学べば学ぶほど分からないことは増えていきます。また挑戦すれば、失敗することも多くあります。自分と異なる先人の考えに触れることも多々あります。しかし学び続ける謙遜さを忘れなければ、思考を深めて整理し、自分の意見をはっきりと持てるようになります。また知識と経験を蓄積して、社会の中でオリジナリティを発揮できるようにもなります。これはつまり、自分の強みをよりよく理解し、より社会に貢献できるようになることにもつながります。したがって、経験と先人からの学びは自分が社会の構成員として生きていくために、大切なステップであると僕は考えます。

多様な経験を積むためには、特に自分の専攻である物理学の研究に集中することがこれまで僕にとって有益でした。第一に、物理学を真剣に研究すると失敗には何度も直面します。失敗は苦しいですが、とても実り多い学びを与えてくれます。また物理学に真摯に向き合うとき、様々な経験は環境が与えてくれます。東京大学のような国際的な競争力のある研究機関で研究すると、多くのことを期待される反面、幅広い経験を積むことができます。さらに物理学は積み重ねの上に成り立つ科学なので、先人から学ぶ謙虚さが自然と身につきます。孔子は学問への姿勢に関して「分かったことを分かったと言い、分からないことは分からないと言う、これが理解したということである。」と言いました。僕はこの真に大切な考えを、物理学を学ぶ過程で自然に理解できたと自負しています。これは僕の大きな誇りです。そして実験物理学においてさらに大切で実り豊かなことは、自然から直接学ぶことです。自然に問いかけて、その反応に対して注意深く耳を傾けると、感動するほどの大きな学びがあります。

さらに学問には、副産物もあります。学問を通じて他人との関わり方への理解が深まり、行動の規範が定まります。具体的にいうと学び続ける姿勢を失わないことで、他人へより優しくできるようになると僕は考えます。僕は俗物で、理性に当然ながら限界があり、人との接し方に関して悩みを持ったり、振る舞いで後悔することが多いです。また自分がいかに下らない人間か打ちのめされることも数多くあります。しかし、孔子が言ったように学問は人間関係の基準への理解を深めるために有益です。(「仁を好んでも学問を好まないと、愚か者になる。知を好んでも学問を好まないと、どうしたら良いか解らなくなる。信頼を好んでも学問を好まないと、盲信してしまう事になる。正直さを好んでも学問を好まないと、窮屈になる。勇気を好んでも学問を好まないと、乱暴者になる。強さを好んでも学問を好まないと、狂乱に陥ってしまう。(論語)」)

社会に貢献するために、仕事の継続が大切です。仕事をやり遂げることが必要だからです。また継続から失敗の経験を積むことができます。そのために僕は仕事を楽しむことがとても大切だと考えます。楽しい仕事は比較的に継続しやすいです。僕がこれまで見てきた尊敬できる方々は皆さん仕事を楽しんでおられました。人生を楽しんでこそ、社会に貢献することができると僕は考えます。僕にとって物理学を勉強できることはとても幸せなことです。それは物理学それ自身が美しく、普遍的だからです。また僕にとって物理学は難しく、挑戦的でもあります。私はそのような仕事をめざしています。

最後に私にとって挑戦が大切な理由に関してお話しします。僕が尊敬する新島襄はアメリカに単身で旅立つ前にこう言いました。「たとえ私の企てが全く失敗に終わったとしても、私の国にとってはなんの損失にもならないであろう。しかしいまだ見も知らぬ国で長い流浪生活を送った後でもし帰国が許されるなら、愛する祖国のためになんらかの奉仕はできるだろう。」彼のようにリスクをとって、大きな社会に資する人材となることが僕の夢です。

最後まで読んでくださり、感謝します。この中国語の文章は申請者の中国語の知識不足から、申請者個人の力で書き上げることができませんでした。内容を中国出身の友人に添削いただいたことを申し添えます。